

2010 年 6 月 9 日

# Science Communication Report

京都大学 物質－細胞統合システム拠点  
科学コミュニケーショングループ 加納圭、水町衣里  
事務部 国際広報セクション 飯島由多加

## 京都大学 iCeMS、「科学・技術フェスタ in 京都」に出展

京都大学物質－細胞統合システム拠点 (iCeMS=アイセムス) は 6 月 5 日、国立京都国際会館で開催された「科学・技術フェスタ in 京都 ー平成 22 年度 産学官連携推進会議ー」に、世界トップレベル研究拠点 (WPI) プログラム枠で出展しました。高校生を主な対象とした iCeMS ブース『しっかり遊べ。』には、延べ 700 名が訪れました。フェスタ全体の来場者数は 5,121 名でした (内閣府調べ)。

一方的に説明をするのではなく、来場者から「? (ハテナ) を引き出す」ため、説明者として参加した研究者たちは①質問されるまでは何も教えないこと、②わたがし機、パズル、磁石ブロック、粘土、ES/iPS 細胞、X 線写真といった教育ツールを通してコミュニケーションを取ること、③自分自身が楽しむことを念頭に置き、来場者と対話しました。

フェスタ終了後、研究者からは「導入の説明だけはしておいた方がハテナを引き出しやすかったのではないか」といった声も挙がり、次の機会に向けた検討事項も見えてきました。終始笑顔が絶えず、時に順番待ちの列ができるほどの熱気に包まれた iCeMS ブースでした。



iCeMS ブース前で順番待ちをする来場者

【出展報告】

科学・技術フェスタ in 京都 ー平成 22 年度 産学官連携推進会議ー



1) ES も iPS も (iCeMS 中辻グループ提供)

- ・ マウス ES 細胞、ヒト iPS 細胞などを顕微鏡で観察。
- ・ 粘土で ES 細胞の作製過程を説明するプログラム。

粘土と顕微鏡を使って ES/iPS 細胞の作製過程を伝える武内大輝さん (左) と熊谷英明さん (右)



2) ナノファイバー (iCeMS チェングループ提供)

- ・ 改造して、ナノファイバー製造装置として使用しているわたがし機のデモンストレーション。

わたがし機を使ってナノファイバー製造について伝える Li Liu 研究員 (左) と Qinghua Yuan 研究員 (中央)



3) DNA おりがみ (iCeMS 杉山グループ提供)

- ・ ジグソーパズルを使って、DNA おりがみの仕組みを伝えるプログラム。

パズルを使って DNA おりがみの仕組みを伝える (左から) Soyoung Park 研究員、Arivazhagan Rajendran 研究員、森永浩伸さん



4) 分子のおうち (iCeMS 北川グループ提供)

- ・ おもちゃの磁石ブロックを使って、金属錯体化学を伝えるプログラム。

磁石ブロックを使って錯体化学について伝える田部博康さん (左) と下村悟さん (右)





【出展報告】

科学・技術フェスタ in 京都 ー平成 22 年度 産学官連携推進会議ー



5) Xのなぞ（京都大学総合博物館&

学術情報メディアセンターコンテンツ作成室提供）

- ・ LED ライトボードを使ってレントゲンフィルムを展示。
- ・ X線CTの仕組みを伝える動画コンテンツを iPad にて展示。

レントゲンフィルムを見ながら  
X線について伝える藪本沙織さん（左）と  
水町衣里研究員（右）



森純一京都大学国際交流推進機構長（手前）と  
野村慎一郎研究員（奥）



Yong Chen 教授（左）と中辻憲夫拠点長（右）



今回 iCeMS ブースの出展に参加したメンバー